

環境政策課

1 環境保全審議会運営事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書241ページ〕

調布市環境基本条例第22条の規定により設置。市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するうえで、必要な事項を調査審議するもの

- (1) 委員構成等 市民（5人），事業者（2人），学識経験者（4人），行政機関職員（2人）
をもって組織 男8人，女5人
- (2) 審議会開催 3回

回	開催日	内容
第1回	令和元年 5月29日	令和元年度環境部各課主要事業について（報告）
第2回	令和元年 8月20日	1 平成30年度環境部所管業務の実績について（報告） 2 調布市環境基本計画の中間見直しについて（報告） 3 調布市緑の基本計画の策定業務について（報告） 4 （仮称）調布市下水道総合ビジョンの策定について（報告）
第3回	令和2年 2月12日	1 調布市環境基本計画改定の基本方針（案）について（報告） 2 調布市緑の基本計画策定の検討状況について（報告） 3 （仮称）調布市下水道総合ビジョン策定に向けた検討状況について（報告） 4 海洋プラスチック問題に対する今後の取組について（報告） 5 深大寺自然広場崖線樹林地保全管理計画の策定について（報告）

2 環境基本計画推進事業

予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書241ページ〕

環境基本計画に基づく事業を推進及び計画の見直しをするもの

- (1) 「未来へつなぐ調布の環境～平成30年度環境年次報告書～」の発行
平成28年3月に策定した調布市環境基本計画で定めた環境指標等に対する進捗状況及び調布市をとりまく環境等に係るデータを報告するもの
調布市ホームページでも公開した。
発行部数 120部
- (2) 環境調整協議会の開催
市の環境保全等に関する施策を円滑に推進するため、庁内各部の次長を対象とした環境調整協議会を開催した。

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年 3月26日	1 調布市環境基本計画等の改定について 2 調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について 3 海洋プラスチック（海プラ）問題に対する取組について 4 深大寺・佐須地域の公有地について 5 公共工事環境配慮指針に係る報告について

- (3) 環境基本計画等の中間見直し

環境基本計画の中間見直し及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行うため、市民アンケート調査，中間報告会等を実施したもの

ア 市民アンケート調査

(ア) 目的

環境基本計画の中間見直し及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けた基礎資料とすることを目的として実施した。

(イ) 調査対象者

市内に住民登録をしている満16歳以上の市民を対象とし、3,000人を無作為抽出した。

(ウ) 調査方法 郵送による配布及び回収とした。

(エ) 調査期間 令和元年10月12日から同月27日まで

(オ) 回収率等

a 配布数 3,000人

b 回収数 1,321人

c 回収率 44.0%

イ 環境基本計画中間報告会の開催

環境基本計画等に掲げるこれまでの取組の成果と課題を市民と共有し、今後の取組について広く意見聴取をするため、開催した。

(ア) 開催内容

a 環境の現状，環境基本計画の取組状況及び成果・課題の報告

b 基調講演（環境保全審議会委員の首都大学東京の奥真美教授による講演）

c 市民ワークショップ

(イ) 開催日

令和2年1月25日

(ウ) 開催場所

教育会館3階研修室

(エ) 参加人数

45人

(4) 環境講座の開催

環境に対する市民の興味・関心を高めてもらうことを目的として、環境市民団体と協働で『2020環境講座～さよなら「使い捨て」生活～』を開催した。

ア 開催内容

水の科学館と虹の下水道館見学，海洋プラスチックごみと食品ロスの問題についての講義，市民ワークショップ

イ 開催回数

4回

ウ 延べ参加人数

52人

3 環境情報システム事業 予算科目（款・項・目）20・05・15 [決算書241ページ]

エネルギーの使用等に係る実績管理をシステムで行うもの

システム管理内容

事業名	内容
エネルギーの使用の合理化等に関する法律に関連する省エネ制度	前年度実績を集計し，国に中長期計画書と定期報告書を提出

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関連する自動車環境管理計画制度	前年度実績を集計し、東京都に報告書を提出
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理	前年度実績を集計し、実績値を公表

4 駅前公衆便所維持管理事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書241ページ〕

公衆の利便に供するため設置した公衆便所の環境衛生の維持及び向上を図るもの
公衆便所清掃管理事業

名称	清掃日数(日)	清掃回数(回)	備考
調布市多摩川さくら緑地公衆トイレ	257	258	調布市花火大会開催日のみ1日2回清掃
調布市つつじヶ丘駅北公衆トイレ	260	260	
調布市京王多摩川駅南公衆トイレ	257	258	調布市花火大会開催日のみ1日2回清掃
調布市深大寺前公衆トイレ	184 (毎週日・月曜日と指定した日)	184	左記のほか「深大寺地域自然環境保全の会」が偶数週の水曜日及び毎週金曜日に清掃
調布市布多天神南公衆トイレ	157 (週3回)	157	左記のほか「布多天神社地域自然環境保全の会」が催事開催日等に清掃
調布市飛田給駅北公衆トイレ	366	410	味の素スタジアムで10,000人以上規模の催事開催日に1日2回清掃含む。
調布市駅前広場暫定公衆トイレ	199	199	令和元年9月清掃開始。1日1回清掃

5 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書241ページ〕

飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、猫の不妊・去勢手術に要する費用を補助するもの
補助額（上限額） 雄5,000円 雌10,000円

(1) 補助件数 雄67匹 雌79匹 合計146匹

(2) 補助人数 97人

(3) 補助総額 1,085,570円※

※ 補助額の上限額未満の申請があったため、上限額に補助件数を乗じた額とは一致しない。

(4) 地域猫についての講演会

ア 実施日 令和元年10月6日

イ 実施場所 市民プラザあくろす あくろすホール

ウ 参加人数 74人

エ 講師 高松 純子 氏（東京都台東区台東保健所生活衛生課愛護動物管理係長（獣医師））

6 カラスの巣等撤去事業

予算科目（款・項・目）20・05・15 〔決算書241ページ〕

市民の安全な生活環境を守るため、カラスの巣及びスズメバチの巣の撤去を行うもの

- (1) カラスの巣撤去件数（戸建住宅敷地内で、人に対して威嚇するカラスの巣を対象） 0件
- (2) スズメバチの巣撤去件数（初期のもので、戸建住宅のみを対象） 4件

7 地球温暖化対策事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書243ページ〕

環境基本計画に基づく目的・目標を達成するために、地球温暖化防止対策を実施するもの

(1) 第3次調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理

市が行う事務事業によって排出される温室効果ガスの削減に向けて、第3次調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理を行った。

ア 目標 平成26年度の総排出量14,859t-CO₂を基準として、令和2年度までに総排出量3.2%以上削減かつ「中長期的に見てエネルギー消費原単位年平均1%以上の低減」

イ 実績

区分	平成26年度 (基準値)	令和元年度 (平成26年度比)
実績 (t-CO ₂)	14,859	14,528 (2.2%減)
参考実績 (t-CO ₂)	14,859	15,855 (6.7%増)

※ 令和元年度実績は、「電気事業者別排出係数－平成30年度実績－R02.1.7公表」の排出係数を使用し、算定した。

※ 令和元年度参考実績は、「電気事業者別排出係数－平成25年度実績－H26.12.5公表」の排出係数を使用し、算定した。

(2) 特定温室効果ガス排出量の検証

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく特定地球温暖化対策事業所について平成30年度特定温室効果ガス排出量の検証を実施した。

ア 特定地球温暖化対策事業所

文化会館たづくり，市庁舎，グリーンホール，総合福祉センター及び調布南オートバイ駐車場

イ 削減義務率

平成15年度から17年度までの平均した温室効果ガス排出量（5,297t-CO₂）を基準とし、平成27年度から令和元年度までの総排出量を、基準の5年度分数値の17%以上の削減をする義務がある。

ウ 特定温室効果ガス排出量結果

平成30年度 3,993t-CO₂（基準年度比24.6%削減）

(3) 壁面緑化事業

夏季の日差しを遮るため、ゴーヤ・アサガオ等で建物の一部をカーテンのように覆って壁面緑化（グリーンカーテン）を施し、公共施設や家庭における省エネルギーの推進を図った。

ア 公共施設における壁面緑化実施施設数 13施設

イ ゴーヤの苗配布 配布数 800株

(4) 公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業

再生可能エネルギーの普及・促進、停電時の電力確保、売電収益の一部を市や市域の環境施策等に活用するため、平成25年度から公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業を推進し、

平成26年度から発電を開始した。

ア 太陽光発電設備設置施設 34施設

イ 事業期間 25年以内（設備の設置・撤去に係る期間を加えた期間（売電期間は20年））

ウ 太陽光発電設備容量 約925kW

エ 令和元年度総発電量 993,109kWh

オ 市や市域への還元事業

(ア) エネルギーセミナーの開催 1回

(イ) 太陽光発電設備見学会の実施 1回

(ウ) ソーラーランタン工作教室の開催 1回

8 都市美化推進事業 予算科目（款・項・目）20・05・15 [決算書243ページ]

都市美化の推進を図るため、空き缶、吸い殻等の清掃活動、普及啓発等を行うもの

(1) 春の多摩川クリーン作戦

ア 実施日 平成31年4月14日

イ 参加団体数及び参加人数 37団体 1,038人

※ 秋の多摩川クリーン作戦は、台風19号の影響のため、中止

(2) 野川クリーン作戦（第六中学校地域教育懇談会と共催）

実施予定日 令和元年11月23日

※ 荒天のため、中止

(3) 調布駅前クリーン作戦

ア 実施日 令和元年9月17日

イ 参加団体及び参加人数 12団体 79人

※ ラグビーワールドカップ2019開催に合わせ10月に2回目を実施予定のところ、天候不良予報のため、中止

(4) 飛田給駅前クリーン作戦

ア 実施日 令和元年9月18日

イ 参加団体及び参加人数 12団体 53人

(5) 喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

ア 期間 令和元年11月20日から同月26日までの平日5日間

イ 実施場所 市内京王線全駅周辺（9駅）

ウ 延べ参加人数 市民及び事業者159人（ほか市職員48人）

エ 開会式参加人数 市民及び事業者37人（ほか市職員16人）

(6) 喫煙マナー，路上喫煙対策

ア 喫煙マナーの啓発等

市内京王線各駅周辺において、喫煙マナーの啓発用プレート、ステッカーの状況確認を行うとともに、希望する市民等に啓発用プレートを配布した。加えて、路上等喫煙禁止区域内であることを表示するための掲示、路面ステッカー等の設置を実施した。

イ 路上等喫煙禁止区域パトロール

令和元年9月から、主に路上等喫煙禁止区域内において、区域内であることの周知、指導を行うとともに、周知用看板、横断幕等の維持管理を行うため、業務委託によりパトロールを実施した。

(7) 駅周辺マナーアップ清掃

ア 京王多摩川駅周辺 9回実施

(ア) 延べ参加人数 市民及び事業者 122人 (ほかに職員20人)

(イ) 清掃時に収集した吸い殻本数 5,633本

イ 仙川駅周辺 10回実施

(ア) 延べ参加人数 市民及び事業者 126人 (ほかに職員21人)

(イ) 清掃時に収集した吸い殻本数 3,595本

(8) 地域団体等の自主的な地域清掃の支援

自主的な清掃活動を実施した。延べ71の自治会などの地域団体に対し、ごみ袋の提供及び清掃用具の貸出しを行った。

9 環境フェア事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書243ページ]

市民、事業所及び行政の協働により、来場者に対し環境問題に関する意識の啓発を図るもの

(1) 出展者 25の市民団体・企業・市

(2) テーマ 「みんなでつなぐ、調布の未来、地球の未来」

(3) 実施日 令和元年6月1日 午前10時から午後3時まで

(4) 会場 調布市役所前庭

(5) 内容 環境保全活動などのパネル展示及び各種催し

(6) 来場者数 3,900人

10 環境学習支援及び推進事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15

[決算書243ページ]

調布市環境基本計画に基づき、パートナーシップと市民参加による環境学習の場の提供と支援を行うもの

(1) 環境学習支援事業

支援先	支援内容等
入間・樹林の会	人材派遣 1回

(2) 環境モニター事業

自然観察による植物種等の調査 3回 延べ参加人数57人

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い、探鳥会1回、そぞろ歩き1回中止

(3) 調布水辺の楽校事業

野外イベント 4回 延べ参加人数658人

(4) 環境情報通信作成事業

ア 「ちょうふ環境にゆ〜す」第38〜40号 各370部発行

イ 「みらいへつなごう〜ちょうふのかんきょう〜」(中学生向け) 4,300部発行

(5) こどもエコクラブ事業

ア 調布こどもエコクラブ事業 5回 延べ参加人数152人

イ 名簿登録 小・中学生42人

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い、野川生物調査中止

(6) 雑木林ボランティア講座事業

ア 講座及び体験活動 6回

イ 延べ受講者数 81人

- ウ 環境活動ボランティア人材登録者 12人（受講者の75%）
- (7) 環境学習公開講座事業
 - ア エコ・クッキング 3回
 - イ 受講者数 24組48人（親子）

(8) ちょうふ環境市民会議運営事業

- ア 調布環境保全団体の活動紹介展 7日間 参加団体数23団体
- イ 講演会「深・佐須の畑をたがやしたい」
 - (ア) 実施日 令和元年6月16日
 - (イ) 実施場所 文化会館たづくり8階 映像シアター
 - (ウ) 参加人数 39人
 - (エ) 講師 大橋 南海子氏（調布市都市計画審議会会長）
齋藤 瑞枝氏（NPO法人むさしの農業ふれあい村代表）

ウ 交流カフェ 3回 延べ参加者数25人

(9) 都立農業高校神代農場活用事業

自然環境教室 5回 延べ受講者数72人

11 深大寺・佐須地域環境資源活用事業

予算科目（款・項・目）20・05・15
〔決算書243ページ〕

深大寺・佐須地域の自然環境の保全・活用を推進するため、各種事業を実施するもの

(1) 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進

計画に基づき、都市農地と国分寺崖線の緑の里山風景を保全するため、調布市土地開発公社により先行取得した調布市深大寺南町二丁目1番地先の一部の土地を、教育委員会や環境市民団体と連携し、環境保全意識の啓発のため暫定利用した。

ア 環境市民団体による土地の環境整備及び環境学習事業

市民等を対象とした環境学習の一環として、作物栽培を通じた環境学習を実施した。

- (ア) 実施団体 ちょうふ環境市民会議
- (イ) 参加人数 延べ409人
- (ウ) 活動日数 延べ154日

イ NPO法人による土地の環境整備及び環境学習事業

栢野小学校の児童の環境教育の一環として、作物栽培を通じた環境学習を実施した。

- (ア) 実施団体 NPO法人東京めぐり
- (イ) 参加人数 延べ352人
- (ウ) 活動日数 延べ69日

(2) 調布市佐須^{みのり}農の家貸出事業

深大寺・佐須地域などの雑木林、水田等で形成される里山等の環境を、市民等が維持していくことを目的とした活動及び里山等の歴史や文化を広める活動を支援する施設である「調布市佐須^{みのり}農の家」の貸出事業を実施した。

※ 令和元年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年3月28日から臨時休館

- ア 貸出件数 39件
- イ 貸出人数 延べ508人

多摩川を中心とした自然環境を学べる展示室や学習室を備えた環境学習施設として展示や各種イベントを開催するもの

※ 令和元年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年3月28日から臨時休館

(1) 入館者数及び学習室貸出状況

学習室貸出件数	学習室貸出人数	入館者数（学習室貸出人数を含む。）
29件	延べ241人	延べ10,271人

(2) ボランティア解説員

2日間の養成講座を修了した人を多摩川自然情報館ボランティア解説員として登録し、館内での解説やイベント対応等の活動をするもの

登録人数	延べ活動時間	養成講座修了者数	
30人	156時間	新規 2人	合計 34人

(3) 展示した内容

1	調布市で見ることができるセミ
2	セミのなが〜い一生
3	バッタのひみつ
4	調布市でみられるバッタのなかま（その1・2）
5	生態展示「おさかなコーナー」「こんちゅうコーナー」を設置し爬虫類・両生類及び甲殻類の展示や「調布市野草園内の小川にすむ生き物」展示
6	特定外来生物の展示（コクチバス）
7	昆虫・植物標本などの立体展示
8	調布市いきものフォトコンテスト 〜感じよう！生物多様性〜入賞作品展
9	市民から提供された情報等を展示（調布市で見られる鳥や植物等）
10	ボトルアクアリウム （多摩川の水草とヌマエビのなかまを瓶に入れ生態系を再現）
11	カブトムシの幼虫を展示
12	アメリカザリガニ・イシガメの展示
13	多摩川で見られる在来植物（オオイヌタデ・キンミズヒキ・クサヨシ・ケキツネノボタン・ゲンノショウコ・セリ・ナガエミクリ・ネジバナ・ヒメガマ・ミゾソバ・ミツバアケビ・ヤズソウなど）を鉢植え展示
14	調布市で見られるカメ
15	調布市内の多摩川で見られる魚類

(4) 月替わりプログラム

開催月	プログラム名
平成31年4月	土の中の生き物を観察してみよう〜春〜
令和元年5月	多摩川にいる野鳥を観察しよう
6月	いきものプールの生き物観察と水質調査
7月	多摩川の植物で標本作り
8月	多摩川の昆虫で標本作り

9月	セミの抜け殻を見分けよう
10月	多摩川の植物遊び～秋～
11月	いきものプールの生き物観察と水草観察
12月	多摩川の魚でカードゲーム
令和2年1月	多摩川の生き物カルタ
2月	切り絵でロゼットを学ぼう
3月	多摩川の石を見分けよう

(5) 月別イベント

開催日	事業名	講師	参加者数(人)
令和元年 5月25日	多摩川植物観察会	長岡聡子氏 (植物研究家)	2
6月22日	水生生物と水質を調査しよう	委託先社員	11
8月3日	多摩川の魚観察会	君塚芳輝氏 (淡水魚類研究家)	15
8月17日	虫採り名人と昆虫採集をしよう!	委託先社員	61
8月18日	多摩川の魚観察会	君塚芳輝氏 (淡水魚類研究家)	19
8月22日	見て、感じて、学ぶ! 市内の環境学習施設見学バスツアー	委託先社員・各施設職員	3
10月5日	多摩川植物観察会	長岡聡子氏 (植物研究家)	8
令和2年 2月1日	野鳥写真家に学ぶ 多摩川の冬鳥の写真撮影のコツ	叶内拓哉氏 (野鳥写真家)	19
3月21日 (中止)	多摩川こども探検隊	委託先社員	※

※ 15人の申し込みがあったが、新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(6) その他のイベント・連携事業

開催日	事業内容	参加者数(人)
令和元年 6月13日	富士見台小学校の環境学習 「多摩川の生き物を観察しよう」受入れ	58
7月8日 ～7月12日	調布中学校生徒の職場体験受入れ	5
7月27日	多摩川自然情報館夏まつり 2019 開催	1,045
10月12日	杉森小学校の環境学習 「多摩川の生き物について学ぼう」受入れ	35
10月17日	富士見台小学校の環境学習 「多摩川の植物を観察しよう」受入れ	61
11月16日	多摩川自然情報館秋まつり 2019 開催	803
11月24日	「第7回ふじみまつり」への出展	
募集期間 7月27日 ～11月30日	調布市いきものフォトコンテスト 2019 ～感じよう生物多様性～	応募点数 40点

令和2年 2月19日	富士見台小学校の環境学習 「多摩川の野鳥観察会」受入れ	63
---------------	--------------------------------	----

13 湧水保全事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書243ページ]

雨水を地下に浸透させ、地下水及び湧水の保全・回復を図るために、雨水浸透ますの設置を推進するもの

雨水浸透ます設置基数 3件 6基

14 河川水質等調査事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書245ページ]

河川環境の改善を図るため、水質等を調査するもの

(1) 河川水質調査項目数

(単位:項目)

調査日		令和元年 6月6日	7月19日	9月24日	11月7日	12月13日	令和2年 3月6日
多摩川	狛江市境	48			20		
	ワンド						
野川	橋場橋		14	14		14	14
	狛江市境	44		14	21		14
深大寺用水	野川流入前		12	9			
佐須用水	野川流入前		12	9			
	農場下		12	9			
仙川	東一の橋		14	14		14	14
	柳川橋	21		12	21		
府中用水	多摩川流入前	21			22		
入間川	都橋			9			
測定項目	生物化学的酸素要求量, 浮遊物質質量, 溶存酸素量, 水素イオン濃度, 大腸菌群数, 全窒素, 全リン, アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素, 硝酸性窒素, 電気伝導度等						

(2) 河川水生生物調査

水生生物から見る水質

水質	A:きれいな水域	B:わりあいきれいな水域	C:汚れている水域	D:とても汚れている水域
指標水生生物	カワゲラ類 サワガニ	スジエビ カワニナ	ヒル類 ミズムシ	イトミミズ 赤色ユスリカ

調査日	令和元年12月5日						
河川名	多摩川	仙川		野川		佐須用水	
地点	多摩川 狛江市境	東一の橋	柳川橋	橋場橋	狛江市境	野草園	野川手前
底生生物	A~B	B~C	C	A~B	A~B		A
付着藻類	B	B	B	A~B	B	A~B	A~B

15 大気汚染測定調査事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15
[決算書245ページ]

大気汚染に係る市民の安心安全を図るため、調査するもの

(1) 大気汚染に係る環境基準

- ア 一酸化炭素 1時間値の1日平均値が10 ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20 ppm以下であること。
- イ 浮遊粒子状物質 1時間値の1日平均値が0.10 mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下であること。
- ウ 二酸化窒素 1時間値の1日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでの範囲内又はそれ以下であること。
- エ 光化学オキシダント 1時間値が0.06 ppm以下であること。
- オ 微小粒子状物質 (PM2.5) 1年平均値15 μg/m³以下であり、かつ、1日平均値が35 μg/m³以下であること。

(2) 測定結果

測定の種類	常時監視測定局 (固定式)		仮設測定局 (移動式)		
	測定地点名称	市役所 屋上	下石原 交差点前	多摩川1丁目 鶴川街道	つつじヶ丘 児童館
測定場所	小島町 2丁目35 番地1	富士見町 2丁目11 番地	多摩川 1丁目51番地	西つつじヶ 丘3丁目19番 地1	深大寺東町 5丁目14番地 1
測定期間	通年		令和2年 2月5日～ 11日	令和2年 2月13日～ 19日	令和2年 2月21日～ 27日

測定項目	環境基準を超過した日数 (日)					
	一酸化炭素 CO	/	0	0	0	0
	浮遊粒子状物質 SPM	0	0	0	0	0
	二酸化窒素 NO ₂	0	2	0	0	0
	光化学オキシダ ント OX	92	73	/	/	/
	微小粒子状物質 PM2.5	/	0	0	0	0
	年平均値					
	窒素酸化物 NOx (ppm)	0.015	0.025	0.045	0.076	0.035
	風速 (m/s)	/	/	1.7	2.4	2.6
	温度 (°C)	16.6	/	/	/	/
湿度 (%)	65	/	/	/	/	
年総量						
雨量 (mm)	1,449	/	/	/	/	

16 公害関係法律等に基づく事務事業

予算科目 (款・項・目) 20・05・15
〔決算書245ページ〕

公害の発生を防止するため、各種届出の受理等を行うもの

- (1) 大気汚染防止法に基づく届出 (特定粉じん排出作業実施) 届出13件、報告9件

- (2) 騒音規制法に基づく届出 特定施設 4 件, 特定建設作業等 7 0 件
- (3) 振動規制法に基づく届出 特定施設 1 件, 特定建設作業等 5 5 件
- (4) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく届出
 - ア 工場設置認可・変更認可等件数 設置認可 0 件, 変更認可 0 件
 - イ 指定作業場受付件数 設置 4 件, 変更等 0 件
 - ウ 各種届出
 - (ア) 工場に関する届出 地下水揚水量 1 6 件, 氏名変更等 1 5 件
 - (イ) 指定作業場等に関する届出 地下水揚水量 2 0 件, 氏名変更等 7 件
 - (ウ) 石綿含有建築物解体工事計画届及び報告 1 8 件

(5) 公害に関する苦情受付件数 (単位：件)

区分	大気	悪臭	汚水	騒音	振動	その他	合計
件数	19	13	0	46	11	0	89

(6) 光化学スモッグ発令回数及び被害者届出数

東京都による発令（中部地域）を市内各施設に連絡した。

学校情報（回）	注意報（回）	警報（回）	市内被害者数（人）
8	3	0	0

17 地下水汚染調査事業 予算科目（款・項・目）20・05・15 [決算245ページ]

地下水の汚濁状況を監視するため、井戸の水質を調査するもの

- (1) 調査項目 4 項目（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、四塩化炭素）
- (2) 調査年月日 令和2年3月17・18日
- (3) 調査井戸 14本
- (4) 有機溶剤検出井戸 7本（うち、環境基準不適合井戸 0本）
- (5) 不検出井戸 7本

18 地下水汚染浄化対策事業 予算科目（款・項・目）20・05・15 [決算書245ページ]

地下水の改善を図るため、多摩川3丁目市有地内の井戸水を浄化するもの

平成12年時点で環境基準の1,300倍だったテトラクロロエチレンの濃度は、継続的な浄化の結果、平成31年度は6.1倍（0.061mg/l）であった。

揚水原水濃度の推移（公定法） (単位：mg/l)

		テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	シス-1,2ジクロロエチレン	クロロエチレン※
環境基準値 mg/l		0.01	0.03	0.04	0.002
平成29年度	平成30年3月9日	0.10	0.47	1.0	—
平成30年度	平成31年3月20日	0.093	0.47	1.1	0.0011
令和元年度	令和2年3月10日	0.061	0.36	1.0	0.0010

※ 平成30年度より土壌汚染対策法運用指針の変更により調査項目に追加。

19 自動車騒音常時監視事業 予算科目（款・項・目）20・05・15 [決算245ページ]

道路周辺地域の環境改善を図るため、市内の主要幹線道路を対象として、面的評価支援シ

システム（※）により、自動車騒音を測定するもの

(1) 各区間の評価結果

道路名 (通称名)	評価区 間番号	基準点騒音 レベル		残留騒音 レベル		達成率 (%)		達成戸数 (戸)		全戸数 (戸) ※B
		(デシベル) ※A				昼間	夜間	昼間	夜間	
		昼間	夜間	昼間	夜間					
中央自動車道 富士吉田線	90	63	59	43	40	85.4	82.0	1,231	1,181	1,141
中央自動車道 富士吉田線	100	58	54	48	47	99.7	99.7	867	867	870
一般国道 20号	17010	72	69	43	37	92.3	84.8	6,057	5,564	6,561
調布 田無線	40680	58	54	44	37	100	100	717	717	717
調布 田無線	40720	66	65	47	42	96.1	91.4	639	608	665
町田 調布線	41180	65	60	46	42	99.3	98.4	1,327	1,315	1,336
町田 調布線	41230	62	55	37	34	96.9	100	314	324	324

※ 面的評価支援システム

一定の住居範囲におけるある1点（※A）で測定した騒音から、当該居住範囲の全戸（※B）の騒音を推計する新たな騒音の計測方法をいう。

(2) 騒音・振動測定結果

(単位：デシベル)

測定地点		深大寺北町 1丁目1番地 4先	富士見町2 丁目16番 地33先	西つつじヶ 丘3丁目19番 地先	仙川町2丁 目6番地5先	多摩川 2丁目26番地 先
路線名 (通称名)		都道調布田 無線（武蔵 境通り）	都道調布 田無線 （武蔵境 通り）	国道20号 （甲州街 道）	国道20号 （甲州街 道）	都道町田調 布線（鶴川 街道）
測定期間		令和2年1月15・16日				
騒音	騒音要 請限度 （主要 幹線道 路沿 い）	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70
	環境基 準値	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65
	騒音測 定結果 （等価 騒音レ ベルの 年平均 値）	昼 58 夜 54	昼 66 夜 65	昼 72 夜 69	昼 72 夜 70	昼 65 夜 60

振動	振動要 請限度	昼 夜	65 60	65 60	65 60		
	振動調 査結果 (等価 振動レ ベルの 平均 値)	昼 夜	45 40	50 46	51 47		

20 放射線量測定事業

市民の不安の解消を図るため、放射性物質の測定を行うもの

(1) 空間放射線簡易測定

ア 測定場所及び測定頻度

定点10施設について、毎月1回測定した。

1 上布田保育園	2 東部保育園	3 上石原保育園	4 第一小学校	5 北ノ台小学校
6 緑ヶ丘小学校	7 調布ヶ丘児童館	8 染地児童館	9 上布田公園	10 八雲台公園

イ 測定機器 ホリバ製PA-1000Radi

ウ 測定結果

全ての施設において、国の除染基準除染要件を超える数値は確認されなかった。

※ 環境省「放射性物質汚染対処特別措置法」に基づく除染関係ガイドライン（平成23年12月第1版）で、除染要件を0.23 μ Sv/h以上（地表50～100cm）としている。

エ 測定結果の公表

定点10箇所については、市報及び市ホームページ、その他の施設については、市ホームページで公表した。

(2) 空間放射線簡易測定器の貸出し

対象 自治会、地区協議会、各市民グループ等のほか、市民1人以上の希望者

ア 貸出機器及び台数 ホリバ製PA-1000Radi 2台

イ 利用条件 開庁日の午前9時から午後4時までの1日単位

※ 希望により複数日可。次の予約がなければ、貸し出し期間延長可。

ウ 利用数 3件

21 ISO14001事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書245ページ]

市を一事業所として環境管理システムの充実を図り、地球環境保全に向けた具体的行動の実践に努めるもの

(1) 環境管理委員会の開催

副市長（環境担当）、環境管理責任者（環境部長）、実行部門長（各部の部長等）で構成する協議機関であり、定例会を3回開催した。

回	開催日	内容
第1回	令和元年 7月23日	1 平成30年度環境目標の達成状況について（報告） 2 市長による見直しの結果について（報告） 3 令和元年度第1四半期の環境目標の達成状況について（報告） 4 令和元年度内部環境監査について（報告）

第2回	令和元年 11月26日	1 令和元年度第2四半期の環境目標の達成状況について（報告） 2 令和元年度内部環境監査について（報告） 3 不燃物の排出に係る状況把握のためのアンケート調査結果について（報告） 4 環境部におけるプラスチック減量に向けた取組について（報告）
第3回	令和2年 3月25日	1 令和元年度第3四半期の環境目標の達成状況について（報告） 2 令和2年度環境目標（案）について（付議） 3 環境管理マニュアルの改訂について（付議） 4 海洋プラスチック（海プラ）問題に対する取組について（付議）

(2) 環境研修

対象者	開催日	受講者数 (人)	研修の内容
新規採用職員	平成31年4月3日	47	調布市のISO14001について
ISO担当者	平成31年4月16日	55	調布市環境マネジメントシステムについて（マニュアルの説明）
所属長以上の 管理職	令和元年5月7日	100	調布市環境マネジメントシステムについて
内部監査員	令和元年10月2日	14	調布市環境マネジメントシステム及び 内部環境監査手法について

(3) ちょうふISO譜°（ちょうふいそっぷ）

ISO14001に関することや環境施策に関する各種取組を市職員に周知するため発行した。また、市ホームページにも掲載した。

号	発行日	主な内容
96	令和元年9月5日	平成30年度EMS取組結果 グリーン購入の推進 みんなで取組むEMS～目標達成のために+α～
97	令和2年1月14日	不燃物等ごみアンケート結果 令和元年度内部環境監査結果 環境目標の達成状況一覧

(4) 環境目標達成状況

対策	目標	結果	備考
第3次地球温暖化対策 実行計画（事務事業 編）の目標達成	平成26年度の総排出量 （14,859t-CO ₂ ）を基 準として2.6%の削減 を行う。	未達成 15,855 t-CO ₂	基準値に対して 6.7%増加
環境確保条例に係る温 室効果ガス総量削減義 務制度対象施設の光熱 量に伴う温室効果ガス 排出量の削減	温室効果ガス総排出量 5,297t-CO ₂ （基準値） から17%以上CO ₂ を削 減する。	達成 4,132 t-CO ₂	基準値に対して 22.0%削減 ※暫定値（確定値は 令和2年度に行う検 証機関による検証の 認定を受けてから決 定）
グリーン購入の推進	グリーン購入率を 95%以上にする。	達成 95.9%	目標値に対して0.9 ポイント増加
本庁舎における電気使 用量の抑制	電気使用量が 1,148,439kWhを上回ら ないようにする。	未達成 1,227,968kWh	目標値に対して 6.9%増加
本庁舎におけるガス使 用量の抑制	ガス使用量が 1,101m ³ を上回らな いようにする。	達成 621m ³	目標値に対して 43.6%抑制
本庁舎における水道使 用量の抑制	水道使用量が 10,884m ³ を上回らな いようにする。	達成 7,588m ³	目標値に対して 30.3%抑制

可燃物排出量の削減	可燃物排出量を89,513kg以下にする。	未達成 89,514kg	目標値に対して 0.001%増加
資源化に適さない可燃物排出量の削減	資源化に適さない可燃物排出量を6,102kg以下にする。	未達成 7,131kg	目標値に対して 16.9%増加
不燃物排出量の削減	不燃物排出量を9,103kg以下にする。	未達成 9,182kg	目標値に対して 0.9%増加
資源化に適さない不燃物排出量の削減	資源化に適さない不燃物排出量を1,477kg以下にする。	未達成 2,138kg	目標値に対して 44.8%増加

22 畜犬登録等事務事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書245ページ]

狂犬病の予防等を図るため、犬の登録、鑑札の交付等を行うもの

(1) 登録等の状況(総数)

- ア 新規登録 526件
- イ 鑑札再交付 88件
- ウ 鑑札無料交付 153件
- エ 転出158件, 死亡547件
- オ 注射済票交付 6,489件
- カ 注射済票再交付 15件

(2) 狂犬病予防集合注射接種状況(年1回)

- ア 実施日 平成31年4月16日から同月20日までの5日間
- イ 実施場所 陵山公園, 若宮八幡神社, 仙川第2仲よし広場, 上ノ原公園, すわくぼ児童遊園, 石原小前公園, 青渭神社, くすのき第1児童遊園, 調布市役所駐車場
- ウ 注射済票交付 622件 ※うち, 注射済票交付のみ12件
- エ 新規登録 5件
- オ 鑑札再交付 1件

(3) 犬の飼い方教室

- ア 実施日 令和元年5月16日
- イ 実施場所 文化会館たづくり8階 映像シアター
- ウ 参加人数 38人
- エ 講師 西川 文二氏(公益社団法人J A H A認定 家庭犬しつけインストラクター)

23 シックハウス症候群対策事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15
[決算書245ページ]

健康被害を防止するため、室内化学物質の放散に関する対策を実施するもの

(1) 室内化学物質簡易測定事業

シックハウス症候群対策として、市民からの要望により民間住宅の簡易測定を実施するもの
室内化学物質簡易測定件数 2件

(2) 講演会

シックハウス対策の基礎知識や重要性の習得のため、職員を対象とした有識者による講演会を実施した。

- ア 実施日 令和元年12月12日

イ 実施場所 文化会館たづくり8階 映像シアター

ウ 参加人数 55人

エ 講師 柳沢 幸雄氏（開成中学校・高等学校 校長，東京大学名誉教授 工学博士）

24 空き地草刈り事業

空き地の適正化を図るため，所有者に代わり雑草等を除却するもの

草刈り苦情等の処理状況（単位：件）

	民有地	公有地
委託処理	0	0
自主処理	8	1
合計	8	1

25 屋外広告物関係事業

良好な景観の形成，公衆に対する危害の防止等を図るため，屋外広告物に規制を行うもの

(1) 屋外広告物許可申請事務（調布市経由東京都許可分 歳入は東京都）

種類	申請件数	広告物の数	手数料算定数量	単価	小計
広告塔	10件	12基	241点（5㎡の個数）	3,220円	776,020円
広告板	105件	200基	474点（5㎡の個数）	3,220円	1,526,280円
小型広告板	2件	8基	8点（小型広告板の個数）	400円	3,200円
合計	117件	220基			2,305,500円

(2) 屋外広告物許可申請事務（調布市許可分）

広告物の種類	申請件数	広告物の数	手数料算定数量	単価	小計
広告板	112件	538基	737点（5㎡の個数）	3,220円	2,373,140円
立看板等	15件	81基	81点（立看板等の枚数）	450円	36,450円
合計	127件	619基			2,409,590円

(3) 違反屋外広告物除却枚数

種類	事業	職員による簡易除却	市民による除却員活動	合計
はり紙		1,210枚	1,806枚	3,016枚
はり札		406枚	0枚	406枚
立看板		2枚	0枚	2枚
その他		101枚	0枚	101枚
合計		1,719枚	1,806枚	3,525枚

26 公共工事環境配慮指針

調布市が行う公共工事における環境への配慮を推進することを目的に，一定規模以上の公共工事を対象に，計画段階から着実に環境配慮を行うため，環境配慮チェックシートにより供用開始段階まで進行管理をしていくもの

対象工事要件

区分	対象工事	面積	金額	備考
		どちらか一方に該当していれば対象		
土木工事	公園・緑地の整備	1,000㎡以上	1,000万円以上	補修工事及び施設の更新を除く

	下水道の整備		3,000万円以上	
	道路の新設・拡幅	幅員 12m以上		
	道路の改修		3,000万円以上	
	駐輪場の整備	500 m ² 以上		
建築工事	新築, 増築・改築 解体・撤去	500 m ² 以上	3,000万円以上	
	改修		5,000万円以上	
その他工事 (設備工事等)			5,000万円以上	

令和元年度対象工事件数 土木工事 7 件, 建築工事 24 件, その他工事 (設備工事等) 3 件